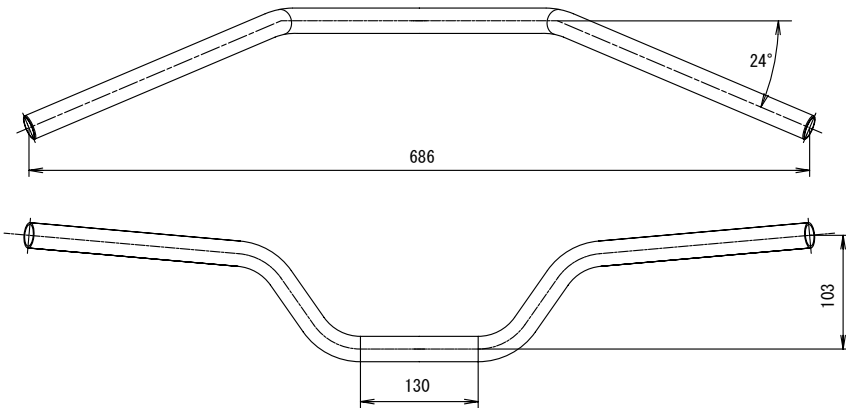


# ステアリングハンドル（ツーリングミディアム）取扱説明書

製品番号 06-01-2527

適応車種	PCX (JF81-1000001 ~)
	PCX150 (KF30-1000001 ~)



※ハンドルパイプ径 22.2mm  
肉厚 1.5mm

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎PCX/PCX150 (JF28・56/KF12・18) には使用出来ません。
- ◎純正のハンドルウエイトは取り付け出来ません。弊社製汎用ハンドルバーエンドをご使用下さい。  
詳しくは弊社総合カタログ又はWEB SITE をご覧下さい。 <http://www.takegawa.co.jp>

## ～特徴～

- このツーリングミディアムは、純正のハンドル高さより若干低く違和感の無い形状としており、サビに強いSUS(ステンレス)材を使用しております。  
又、各ハウジング位置決め穴加工済みですので、ボルトオンで取り付け出来るPCX/PCX150専用のステアリングハンドルバーです。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ハンドルバー両端部には、エッジ及びカエリ等がある場合があります。作業は充分注意して行って下さい。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 転倒などをした場合、必ず各部を点検しクラック等の異常が有る場合はそのまま使用せず、部品交換を行ってください。
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

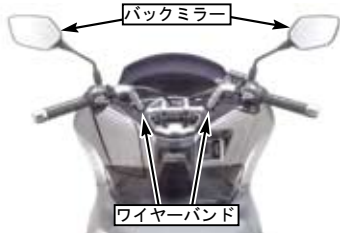
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16  
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>  
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

## 取り外し

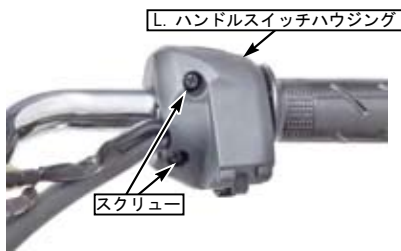
○バックミラー、ワイヤーバンドを取り外す。



○ワイヤーバンドを外し、コネクターの接続を外す。  
ソケットボルトを外して、ホルダー、  
L. ブレーキレバーブラケットを取り外す。



○スクリューをL. ハンドルスイッチハウジングから取り外す。



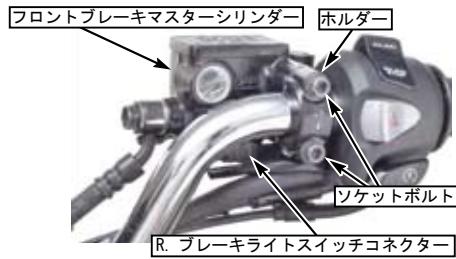
○L. ハンドルスイッチハウジングを上下に分割し、ステアリングハンドルから取り外す。



○スクリューを外し、L. ステアリングハンドルウエイトを取り外し、L. ハンドルグリップを取り外す。



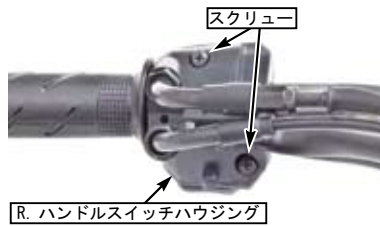
○R. ブレーキライトスイッチコネクターの接続を外し、ソケットボルト、ホルダー、フロントブレーキマスターシリンダーを取り外す。



○スクリューを外し、R. ハンドルウエイトを取り外す。



○スクリューをR. ハンドルスイッチハウジングから取り外す。



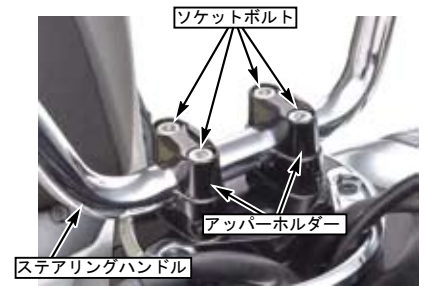
○R. ハンドルスイッチを上下に分割し、スロットルパイプからスロットルケーブルの接続を外し、R. ハンドルスイッチとスロットルパイプを取り外す。



○ホルダー部のキャップを取り外す。

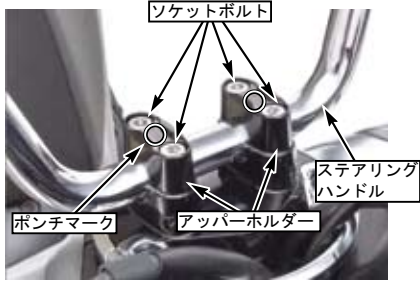


○ソケットボルトを外し、アッパーホルダーとノーマルステアリングハンドルを取り外す。



## 取り付け

○キットのステアリングハンドルをロアホルダーにセットし、ホルダー上面を合わせ、アッパーホルダーのポンチマークを前側に向けて取り付け、ソケットボルトを取り付ける。



○スロットルパイプのケーブル巻き取り部にグリスを0.1～0.2g塗布し、ステアリングハンドルに取り付け、スロットルパイプをR.ハンドルスイッチハウジングに取り付ける。スロットルケーブルのエンド部をスロットルパイプに接続し、R.ハンドルスイッチハウジングの突起部をステアリングハンドルの穴に合わせ取り付け。



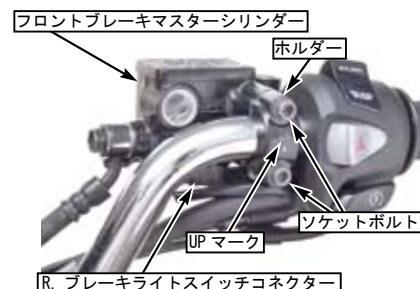
○スクリューを取り付け、上側のスクリューから先に規定トルクで締め付けてから、下側のスクリューを規定トルクで締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
スクリュー  
トルク：2.5N・m (0.25kgf・m)



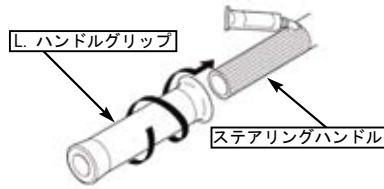
○ステアリングハンドルにフロントブレーキマスターシリンダー端面を合わせ取り付け、ホルダーの“UP”マークを上側に向け、取り付ける。ソケットボルトを取り付け、上側から先に規定トルクで締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
ソケットボルト  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○R. ブレーキライトスイッチコネクターを接続する。

○L. ハンドルグリップをハンドルグリップ内面、ステアリングハンドル接着面の汚れ、油脂分を取り除き十分乾燥させる。接着面に“Honda ボンドA”または“セメダイン#540”を薄く塗布し、接着面が乾かないうちにグリップを回しながら取り付ける。



○L. ハンドルスイッチハウジングの突起部をステアリングハンドルの穴に合わせ、L. ハンドルスイッチハウジングを取り付ける。



○スクリューを取り付け、上側のスクリューから先に規定トルクで締め付けてから、下側のスクリューを規定トルクで締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
スクリュー  
トルク：2.5N・m (0.25kgf・m)



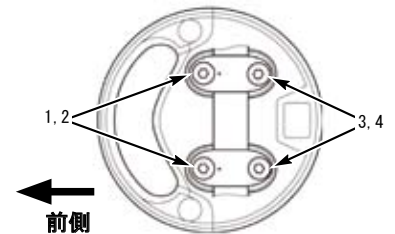
○ステアリングハンドルにL. ブレーキレバーブラケット端面を合わせ取り付け。ホルダーの“UP”マークを上側に向け、ソケットボルトを取り付け、上側から先に規定トルクで締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
ソケットボルト  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○コネクターを接続し、ワイヤバンドを取り付ける。ステアリングハンドルの位置を調整する。ハンドルを左右いっぱいまで行き、各ハーネス、ケーブルに無理がないかを確認する。調整が終われば、アッパーホルダー部のソケットボルトを図に示される順番に規定トルクまで締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
ソケットボルト  
トルク：27N・m (2.8kgf・m)

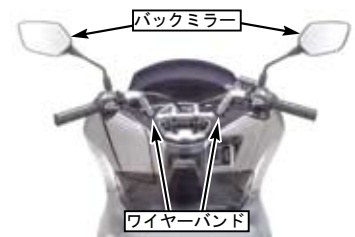


○アッパーホルダー部のキャップを取り付ける。



○ワイヤバンドを取り付ける。バックミラーを取り付け、バックミラーアダプターボルト/ロックナットを規定トルクで締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
バックミラーアダプターボルト/ロックナット  
トルク：34N・m (3.5kgf・m)



○使用するハンドルバーエンドの指示に従い、左右のバーエンドを取り付ける。